

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

またまた雨か (悦)

またまた雨に悩まされました。8月は暑さを考慮して午前中みのコースとして横河口⇄(東コース)⇄池を選びましたが、天気もたず、それも完歩できず11頃に終了しました。

コースを短めでしたが、その割には、内容は充実していたという皆さんの感想でした。

ナンバンハコベ (西)

可憐でかわいいお花。でも雄しべと雌しべの仕組みは、とても機能的でよく出来たシステムみたいです。



ホトギス騒動 (悦)

見つけたホトギス、昨年観察したヤマジノホトギスと思いきや、どうも様子が違う。

山溪ハンディー図鑑「野に咲く花によると

ヤマジノホトギス	特徴	ヤマホトギス
30~60cm	高さ	40~70cm
8~18cm	葉の長さ	8~13cm
1~3個付く 花被片の上半分が平開する。反り返らない	花	散房花序をだす 花被片の上半分が反り返る

裏面の(矢)さんの写真は、反り返っています。散房花序は確認できませんでしたが、花柄の柄が長いのは散房花序の兆候かな？

花の様子が違い、矢張り、同じ種ではありませんね。

昨年頂上コースで見たヤマジノホトギス



今年横河口側で見たのは、ヤマホトギスらしい



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》茅野市観光案内所 (茅野駅ビル2F)
原村 自家焙煎珈琲の店 香芯
《問合せ》NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266-75-1772

一日参加の感想 (滝)

横河口・駐車場のコバノギボウシから始まり、キツネノボタン、オトギリソウ、ナンバンハコベ、イヌゴマ等々、沢山の花と実に、ヒメウラナミジャノメ、オニヤンマ、カミキリと続々登場。

そして最後に「オオムラサキ」！。私が見たのは、高い空をヒラヒラと飛ぶ黒い姿で、残念ながら、美しい青紫色は見られず。

シデシャジンを初めて見たので、図鑑を開いたら、何と、庭で抜いて捨てている草の名が判明。小さな小さな白い菊のような草は「ハキダメギク」。かわいそうな命名でしたが、今までわからなかったのがスッキリしました。



オトギリソウ



イヌゴマ

蜜の運び屋 (佳)

オオハンゴンソウの花粉を集める 2 匹、西洋ミツバチとハナバチの仲間？どっちも可愛いと思ったけど、よく見ると花粉の運び方が違うようだ。ミツバチは花粉団子にしているが、もう一匹はお腹に花粉をビッシリとくっつけている。



8月観察した昆虫 (悦)

蝶:②109~118

- オオムラサキ
- ツバメシジミ



- ヒメウラナミジャノメ



- ジャノメチヨウ



- コジャノメ

- クロアゲハ ♂
- イチモンジチヨウ
- ミドリヒョウモン

- トンボ: ●オニヤンマ
●シオカラトンボ
●ネキトンボ?



- セミ: ●エゾゼミ

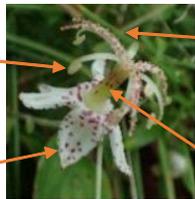
その他

- カマキリ 終齢幼虫



ヤマホトギス (矢)

雌蕊の下に3本、間に3本、計6本の雄蕊。



先が二つに分かれている3本の雌蕊。

反り返る花弁

雌蕊、花弁、花芯にもそばかす。

ヤマホトギスの花、不思議な形と模様はどうして？
小さな花を囲んで喧々譁々、こんな観察会も面白いね。

不思議な形 (黒)

午前中という短い時間でしたが、新しいいろんな発見があったりで、楽しく充実した観察会でした。

一番は、ヤマホトギスです。あの花の形。奇妙な煙突のような、はたまた冠でもあるかのような、上部と下部がまるで独立した働きでもしているかのような不思議な形。自然界は驚きに満ちていますね。

ちなみに、調べてみたら、冠のようなところから垂れ下がっている3本の花糸の先についているのは葯、その上に花びらと同じような模様の3本の、先端が2裂しているのはめしべの花柱ということです。

キツネノボタンとダイコンソウ (SU)

空模様を気にしながらの短い時間でしたが、予想以上に充実した観察会になりました。

ヤマホトギスの花の形は、不思議満載でした。大好きなシデシャジンに会えて嬉しかったし、キツネノボタンとダイコンソウは科が違うことを知り、ちょっと賢くなったみたいです。マタタビの実が豊作だなと思っていたら、よく行く某スーパーで袋詰め販売されていました。



キツネノボタン



ダイコンソウ

可憐なシデシャジン(中)



オオムラサキ舞う森 (中)

8月の昼前のオオムラサキ舞う市民の森を歩き、2時間で40種類ほどの草花木々と出会い、短時間ですが濃密な森との触れ合いの時間を過ごすことができた。

秋 (8月)

東コース 1.0Km
池台横河口
→20分 ←25分
ほぼ平坦

せせらぎコース 1.2Km
南コースとの分岐台横河口
→35分 ←40分
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km
山頂広場⇄池
→25分 ←35分
(標高差100m)

1.3Km
駐車場⇄山頂広場
→60分 ←45分
(標高差100m)

南コース 1.8Km
駐車場⇄池
→40分 ←50分
ほぼ平坦



アップしてみると (□)

・ヌスビトハギも裏から撮ると「クリオネ」



・イネ科の花はサギソウのような飾りが付いていました。



くおまけ>今年のアブラチャン・ヤマウコギ・マタタビたわわな実りです。



2つの素敵 (矢)

●へくそかずらの花、素敵です！



へくそかずらの花はまるでガラス細工のよう。雨の日は更に美しく明かりを灯すランプです。

●クモの母さん、素敵です！



ヒメジョオンの葉の上で、卵のうを守るクモの母さん。危険を感じたら、卵のうを頭に載せてとつとこ逃げる。



ハシカグサ



ヒメヤブラン